

おお大勝利

平成 26 年度山東サッカー部報第 8 号 (5 月 28 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y2B明正戦勝利で 県総体に弾みをつける

5 月 25 日 (日) 山形明正 G にて Y2B 第 4 節山形明正戦が行われました。土日は東北六魂祭で、山形の街中は賑やか。試合開始が 16 時と遅めだったため、午前中には私も子供 (3 歳) を連れて行ってきました。まだパレードは始まっていない時間だったのですが、文翔館内の特設ステージには「御当地アイドル」グループが代わる代わる唄と踊りを披露。私はその隣にあるフードコートに興味があったのですが、10 時過ぎですでに大行列が出来上がっていたのと、子どもが特設ステージに釘付けなのとで、結局食べたのは七日町大通りの玉コンと肉そばという、何ら東北を感じることのできないものでした。パレードの喧騒には目もくれずお昼には帰路についていたのですが、子どもは「踊りが面白かった」との感想・・・普通に聞いたら六魂祭のまっとうな感想なのですがね～。

さて、ここまで Y2B 三連勝で、出だし好調な山東。今日の相手は山形明正。**素晴らしいピッチと素晴らしいスタッフを擁し、今後の発展は間違いないチーム。**ただ、ここまでの Y2B では苦しい戦いを強いられている。山東としては、県総体までの最終戦を勝って勢いをつけて県総体に臨みたいところ。また、県総体を念頭にあれこれ試す最後のチャンス。六魂祭には目もくれず？多数の保護者がいつも通り応援にいらっしやっている。また、後藤報道局長もいつも通り取材にいらっしやっている。ただ、文翔館裏にお住まいの清野 OB 会長は移動できなかったか、いらっしやらず。ベンチ一等席を空けたまま、キックオフを迎える。

試合が始まると、すぐに山東ペースに。前節の酒南戦はトータルに見て山東ペースで試合が進みましたが、前後半の出だし、いわゆる立ち上がり (試合の入り) のリズムが悪く、一時的な劣勢を強いられた。その反省もあり、**明正戦では入りから緩まず行くことを呼びかけていました**が、前半の入りはとても良い。攻勢の中、ロングパスを抜け出し GK との 1 対 1 となった前線の選手が転ばされ、PK 獲得！ と思ったら、主審の判断はペナルティエリアの外 (でのファウル)。転んでいる場所 (現在地点) はペナの中なんですけどね～。ただ、ベンチでは熱くならず紳士的に！ 戦況を見守っていると、「**周りにも自分にもやさしい男!**」**カット**によって蹴られた FK のボールは、壁上方に当たるも、それによりドライブ回転がかかり落ちるボールとなり、GK の上を越してそのままネットを揺らす。開始 3 分で山東先制！ 両足の脛の痛み (シンスプリント) に悩まされ、なかなか出番がなく、得点もご無沙汰の男が気持の良いゴールを決める。その後も、ムンタリのドリブルシュートによるゴールあり、ようやく決まったカツミのミドルシュートからのゴールありで、何と、**前半**

1 しばしばグラウンドに来る私の子供がなぜかカットにだけなついており、名前も覚えているのですが、その理由としてこのように述べた同級生がいました (確かレスラー)。

で5得点。フィニッシュの精度も良かったですが、何より、CDFのパスが冴えていたのとボランチが落ち着いていた。感性の男左SBシャモジ(2年)のパスミスは織り込み済み(心の準備済み)ですが、**昨年まで落ち着きのなさから自滅の感があったアカガワサン(3年)がCDFとしてビシビシとワンタッチのパスを通して**²。「アカガワ成長したな～」とベンチで感心する。また、カツミとクリロンのボランチコンビも、攻守にわたり安定している。**特に、これまでひ弱さの目立ったカツミですが、ボールを奪われず、しかも機を観てドリフルでボールを運び、チャンスを演出。攻守にわたり、体を入れる(スクリーンする)技術が上がったことにより、中盤での存在感が出てきました。**ようやく、「山東の中盤はクリロンだけじゃないぞ」とのアピールができる選手になってきたと言ってもいい。

後半は、次々とフレッシュな選手を投入。中でもレスラーはガンガン縦に仕掛け、存在感をアピール。かなり遠目からのシュートもありました。練習等でもロングシュートの決まったシーンを見たことがないため、「レスラー、本当にそこから打って決まるイメージあったのか(決まらないとは思いつつシュートしか選択肢がなかったので仕方なく打っただけでないのか)?」と問うと、ピッチ内のレスラー「ありました」と即答。あれには呆気にとられました(ちなみにシュートはGKまで届かない類のもの)。「**オールコートシュートレンジ**」の異名をとった**センドーサン**³(コウタの代の二つ上)を彷彿とさせました。ともかく**レスラー、横パスをもらったときにワンタッチで縦に仕掛けるプレーに迫力があり印象的**でした。そう言えば、**サンペーのイニエスタばりの右足ドリフルの突破**にも感心させられましたね。さすが、当初のあだ名がミツニスタだけある(言いにくいのですが消滅)。後半は、明正のCDFの頑張り(二人とも素晴らしかった!)、ボランチの躍動(前半から持ち味を出されたら苦しかった)があり、一進一退の内容。山東が得点しなければいけないシーンも多々ありましたが、逆に、明正のシュートがポストに嫌われ、山東としては事無きを得るシーンもありました。結果的に、後半は両チームともスコアレス、**結局5対0で山東勝利**。山東無失点でしたが、東海B戦同様、ポストに救われた感はあります。ただ、結果的にはここまでY2B4戦で無失点が続いている。続けたいものです。

応援ありがとうございました。いよいよ県総体が迫ってまいりました。昨年是一回戦で米工に敗れ、涙を飲んだ。もう初戦敗退は真っ平御免です。**一戦必勝!** 応援よろしく願います。

**5月30日(金) 県総体一回戦 鶴岡南戦 15:30 @ 県総合運動公園サフグラウンド
勝つと**

**5月31日(土) 県総体二回戦 新庄東戦 13:00 @ 山形明正G
勝つと**

6月1日(日) 県総体三回戦 山形中央 or 酒田西 or 楯岡戦 13:00 @ 県総合運動公園サッカー場

² ワンタッチで(ダイレクトで)パスを通すということは、自分の所にボールがないときに(off the ballのとき/オフのときに)、しっかりパスコースを探しているということ。でなければ、奪い際にワンタッチでパスを通せません。

³ そういえば、センドーサンと同学年のサカグチがこの日お父様(元保護者会長)とともに応援に来てくれました。さらにそういえば、センドーサン、サカグチと同学年で今年一浪して東北大経済学部合格したホリゴメが、東北大サッカー部1年生を率いて、6月29日(日)に河川敷に降り立ちます。この練習試合の設定は、法学部3年のシマヌキ(現3年生兄)がしてくれました。